学術的文章の書式

―学術的な文章の作成にあたっての基礎訓練―

アンダーランド　ジェイク

1A193008-2

題名：

* 主題と副題は２行にし、副題は−で囲む
* 自分の題名には「」をつけない、が他の人の題名には「」をつける

段落：

* 段落の間に空白行を**いれない**
* 段落の最初は一文字空けるA screenshot of a cell phone

  Description automatically generated

以上　は書かない

個人的なメッセージ（よろしくお願いします）は避ける

皆さんは、読者諸君はなどといった読み手への呼びかけはしない。

? : ; “ “ は使わない。会話は「」。語句を強調するときは『』〈〉《》を使う

文末表現は「である」にする。「だ、だろう、します」は使わない。

今回、この度はなどは言わない。

体言止めは避ける

日本語は、文末に述語という一番重要な内容・情報が来るため、それを省略しない。

レポートは全て書き手の考えたこと→と思う　は書かない。思われる、考えることができるだろうなども使わない。

断定のときは「と推測される」「と予測される」を使う。

「図書館にいいて調べたところ、」など、考えるために取った行動も記述しない。

箇条書きでは各項目を特定しやすいようにするために番号を用いる。

私が作文教育を受けた時期は、小学校や中学校の読書感想文や絵日記などで教わった。主語と述語が合っていない→ ねじれた文

表紙：

* 題名（副題）
* 学籍番号
* 氏名
* 提出年月日
* 履修授業  
  → 表紙不要の場合も、これらの事柄は最初のページの上数行に書く。

印刷：

* 片面
* ページ番号を下方にふる
* ホチキスで左上に一箇所だけ止める